

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)グンゼライフポケットAYURAD	階数	地上1F
建設地	京都府綾部市西町3丁目北大坪19-1	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	30人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,004時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年11月 予定	評価の実施日	2016年6月7日
敷地面積	5,250 m <sup>2</sup>	作成者	高島直美
建築面積	2,634 m <sup>2</sup>	確認日	2016年6月20日
延床面積	2,551 m <sup>2</sup>	確認者	高島邦嘉



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	83%
③上記+②以外の	83%
④上記+	83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

音環境	2.6
温熱環境	2.2
光・視環境	3.0
空気質環境	3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	2.9
耐用性	2.8
対応性	3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	1.5

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

建物外皮の	4.0
自然エネ	N.A.
設備システ	4.0
効率的	2.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

水資源	3.4
非再生材料の	3.5
汚染物質	3.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.8
地域環境	3.4
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 本物件は、綾部市に計画される物販店舗である。節水器具や高効率機器の採用により、建物の使用エネルギー低減へ配慮した計画としている。		
<b>Q1 室内環境</b> ・冬期の室温設定について配慮している。 ・全面的に規制対象外及びF☆☆☆☆の材料を使用している。	<b>Q2 サービス性能</b> ・空間の形状にゆとりを設け、自由さを確保している。 ・高寿命な材料を使用し、建物の耐久性に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・周囲の街並みに調和させている。
<b>LR1 エネルギー</b> ・高効率機器を採用し、敷地内のエネルギー使用量の削減に貢献している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水器具を採用している。 ・内装材にリサイクル資材を使用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・燃焼設備の採用を避け、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される